

いちかわけこもんじょ
「市川家古文書」

- 指 定 千曲市指定有形文化財（古文書） 昭和 62 年 1 月 27 日
- 所 在 地 千曲市大字新山
- 所 有 者 個人
- 概 要 和紙に毛筆墨書。^{けんちちょう} 検地帳、^{ひとづめおあらためちよう} 人詰御改帳、^{きりしたんしゅうもんおあらためちよう} 切支丹宗門御改帳で、30 点全部が冊子になっている。
- 時 代 江戸時代
- 公 開 個人所有のため非公開

検地帳写 2 冊、人詰御改下帳、切支丹宗門御改帳で農地の所有、耕作、収穫高の状況や新山村人口構成等を知ることの出来る貴重な資料です。

特に、慶長 7 年（1602）の「信州更級郡新山村御検地帳」は森思数^{もりただかず}の検地帳の写しとみられるもので、この地域の検地帳で一番古いものです。

無表紙の古い検地帳の写は子の年とあるので、寛永元年（1624）か 13 年かのものでしょうか、新山村の古い地名が書かれています。

人詰御改帳・宗門改帳は、各年代の家族構成や村の人口がわかり貴重です。人詰改帳は男子だけのものが多く、女人詰帳が 1 冊のみ残されています。

